

教育スタート事業・アウトリーチ事業 合同会議（午後の部）

「枠を超えることを想像する」

- 日 時：2023年8月22日（火曜日）13時～16時30分
- 会 場：AP日本橋（東京都中央区日本橋3-6-2日本橋フロント6F）Cルーム
- 主 催：公益財団法人日本国際交流センター（JCIE）
- 共 催：特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（アウトリーチ事業コンソーシアム団体）
- 開催方法：対面による会議。午前は各事業のプログラムを実施
- 参加者：計51名（教育スタート及びアウトリーチ事業の実行団体13団体、オブザーバー）

プログラム【午後】

1. 趣旨と概要

日本に暮らす外国にルーツを持つ人々は、300万人を超えという数だけでなく、国籍、来日の理由、年齢、宗教、人種、家族構成、従事する仕事、生活圏などその背景が多様化・複雑化している。今後も外国ルーツ住民の数（量）や背景（質）が一層変化していくと予想される中、これまで外国ルーツ住民の支援を担ってきた人・団体だけでは、この急速な社会的・環境的变化に対応しきれず、サポート・サービスの質、量を高めることは難しい。一方で、日本政府による「在留外国人」へのサポートの動きも拡大しているが、日本社会、特に市民公益活動分野では、日本に暮らす外国ルーツの住民への意識や理解も少なからず進み、自らのミッションを踏まえて外国ルーツ住民をも包摂するような支援ツール、プログラム等の開発、実践の動きも見られている。

午後セッションでは、これまでの領域・地域を超えた連携・協力を振り返りながら、改めて「枠を超える連携・協力」を考える時間としたい。そのため、「[外国ルーツ青少年未来創造事業](#)」（2019年度通常枠）にて領域・地域を超えた多文化対応推進を目指した「公益活動における海外ルーツ青少年受入れ体制推進事業 mincーみんなでつくるインクルーシブ社会」の取り組みから、「中から、枠を超えて広げる実践を振り返る」（NPO法人青少年自立援助センター、朝倉氏）、「外から、枠を超えて深める実践を振り返る」（NPO法人 e-board 中村氏）をテーマに実践からの気づきを共有する。それを踏まえて、日々の「枠を超える実践」の手ごたえ、課題・リスク、戦略、ノウハウなどをディスカッションし、価値を生み出す柔軟性について考える機会とする。

2. スケジュール（13:00～16:30）

- 13:00-13:05 午後の部の趣旨説明
- 13:05-13:35 アイスブレイク（自己紹介）
- 13:35-13:55 報告①「中から、枠を超えて広げる実践を振り返る」（minc コーディネーター朝倉氏）
- 13:55-14:25 報告②「外から、枠を超えて深める実践を振り返るーやさしい字幕プロジェクト」
（e-board 中村氏）
- 14:25-14:45 質疑応答
- 14:45-15:00 休憩
- 15:00-16:00 グループ・ディスカッション
- 16:00-16:20 全体共有
- 16:20-16:30 閉会あいさつ